

函館市医療・介護連携『施設看取り研修会』

～介護施設等での看取りケアの取り組み～

(株)メディカルシャトー

地域密着型特定施設介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木

生活相談員 大黒玲央奈



本日の流れ

1. 施設の概要
2. 施設の看取りケアについて
3. ご本人の看取りケアで主に取り組んだ内容
4. ご本人・ご家族へのアプローチ
5. 職員間・医療機関とのアプローチ
6. 看取り後のケア
7. 職員のメンタルサポート
8. 今後、取り組みたいこと



白ゆり乃木の
看取りケアの
イメージ像を理解

「施設」における
「看取りケア」の
実態を知って頂く



(株) メディカルシャトー 白ゆりグループ 函館地区

ライフプレステージ白ゆり美原

- 住宅型有料老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービス
- ヘルパーステーション
- 居宅介護支援事業所
- 訪問看護リハビリステーション(神山)

ライフプレステージ白ゆり乃木

- 地域密着型特定施設
介護付き有料老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービス
- ヘルパーステーション(サテライト)
- 訪問看護リハビリステーション(サテライト)

札幌と函館で介護と医療の融合を目指して邁進中

ライフプレステージ白ゆり富岡

- 介護付き有料老人ホーム
- グループホーム
- デイサービス

ライフプレステージ白ゆり北斗

- ショートステイ
- デイサービス

高齢者サロン

- ふらっとDaimon

H28年5月開設

地域密着型特定施設

介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木について

- 函館市に住所を有し、要介護度1～5までの方が入居対象
- 居室数は全29床(現在、男性:3名/女性:26名入居中)
- 平均介護度・平均年齢→要介護**3.1**/**90.8**歳
- **看取りの指針・マニュアルあり**



乃木に勤務しているスタッフが入居者様の日常生活をサポート
毎日、体操やレクリエーションを実施している

介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木の概要



★白ゆり乃木の職員体制(令和元年9月時点)

職種	人数
管理者(兼看護師)	1名
看護師 (機能訓練師含む)	2名
生活相談員	1名
介護支援専門員	1名
介護職員(パート含む)	12名
介護アシスタント	4名

全スタッフ21名勤務

日中:7~8名

夜間:2名

(※介護スタッフのみ)



日中は看護師常駐
(必ず1名勤務)

夜間はオンコール対応

介護付き有料白ゆり乃木～看取りケア概要～

- 協力医療機関(内科)は西堀病院と高橋病院
 - 協力医療機関(歯科)はさいとう歯科診療室
 - これまで看取りケアの実施は4名(※H30年で、4名とも女性)
 - →4名とも協力医療機関の訪問診療を受けられていた
- 白ゆり乃木の看取りを
全面的にサポート

ケアカンファレンスの実施

連携体制の強化

協力医療機関

職員間

- ◆ 協力医療機関との情報共有
- ◆ ケアカンファレンスの実施
- ◆ 「看取りケア」に対する職員間研修の実施

介護付き有料白ゆり乃木～看取りケアの流れ～

- ① ご本人様・ご家族様より希望を伺う
- ② 看取りケアの指針・**事前確認書**・同意書の内容を説明
- ③ 看取りケア同意書にサインを頂く
- ④ 協力医療機関(内科医)へ報告し、サインを頂く

希望内容の
変更可能！

★看取りケアにあたって…

「看取り介護計画書」

「終末期ケアにおける確認事項」

「看取りケア」の同意後、
ケアの方向性や
対応の仕方について
確認の為、作成し
ご家族様へ
記入して頂いている

看取りケアにおける「事前確認書」の記入

～いくつかの質問項目あり、記入後の変更も可能！～

- ✓ 終末期を迎えたい場所について
- ✓ 積極的な延命治療の希望の有無
- ✓ 急変時に病院への搬送を希望か
- ✓ 病状についてご本人に説明する有無



初めは「現段階」での
要望をもとに記入を依頼
ご本人の状態変化に
応じて変更可能

延命治療
希望の例

- ① 心臓マッサージ等の心肺蘇生
- ② 胃ろう・鼻チューブによる栄養投与
- ③ 点滴による水分補給
- ④ 人工呼吸器の使用
- ⑤ 人工透析

ご本人・ご家族の
様々な選択肢を
狭めないよう配慮！

白ゆり乃木～A様看取り事例～

看取り対応者：A様、女性、94歳、**要介護4**

ご家族様(**キーパーソン**): 妹様ご夫婦(**主は妹様**)

生活暦：結婚暦なく、早くに他界した母親代わりとして兄弟を支えていた

化粧品販売をされており、仕事熱心な方であった

運動や三味線が得意で、プライベートも充実されていた

晩年は妹様ご夫婦宅で同居されていたが、介護が必要となり入居へ

ご本人の 人物像

- ◆ **口腔ケア・洗面・化粧品に強いこだわりあり**
- ◆ 甘いものが好きで、筆談を用いての会話も
- ◆ 入居者様・スタッフの名前を直ぐに覚えて下さる方

～A様の看取りにおける経過～

精神症状悪化にて、介護拒否あり

(※**幻覚・幻聴あり、不穏時薬服用も**)

スタッフへ
叩く・つねる等の
暴力行為も増加

食事・水分の摂取が減り、ベット上での生活が数日続く

低栄養にてB病院へ入院

水分・食事摂取量にムラが出始める

主治医より、**ご家族と今後の治療方針についてカンファレンス**

H30年8月19日(日)

「施設」での看取りを希望～契約し同意のもと、ケア開始

ご本人やご家族に対するアプローチ

ご本人様・ご家族様の看取りケアの要望は、



それぞれの
要望と想い

「入院や点滴・延命は一切行わないでほしい」

ご本人:「延命しないでほしい」

(ご家族へ意向を書くとの話も)

ご家族:「本人の意向を尊重している」

「本人は白ゆりが好きだから、自由に」

「病院嫌いの為、施設で最期を迎えてほしい」

「施設での生活の継続」がご本人の何よりの希望

ご本人が望む、最大限のケアの提供を検討し実施



ご本人のケアで取り組んだ事

～身体的アプローチ～

➤ **主治医指示のもと、ご本人が好み召し上がられるものを提供**

→(お菓子・甘酒等)

➤ 水分補給が難しい際には…

→「**口腔ケアスポンジ**」に**ジュースやアイス**をつけて提供

※**口腔内を湿らせて**、好きな甘味を感じられるように

➤ こまめな飲食後の口腔ケアの実施

→誤嚥防止も目的に

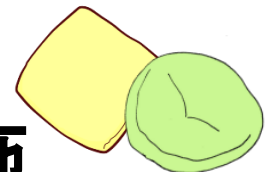
➤ 褥瘡防止の為の体位変換に拒否がある時は…

→看護師の主導のもと、クッションの利用や除圧を実施

①食事提供の強要は×
ご本人の意向に配慮



②口から食べる楽しみを
尊重し、随時対応





ご本人のケアで取り組んだ事

～職員間でのアプローチ～

報告

連絡

相談

職員間での
「情報格差」防止

● 朝礼・申し送りノートでの情報共有

● ケース会議での話し合い

ケア過程における課題の明確化

● ご本人の状態・ご家族との関わりを細部まで記録

ケアに活かすヒントを見つける

介護・看護スタッフ間で

声を掛け合い、情報の食い違いがないよう努めた



ご本人のケアで取り組んだ事

～医療機関とのアプローチ～



①内科協力医療機関：B病院

→随時、状態報告

医療機器がない施設での対応や関わり方について相談

介護と看護でできる
ケアについて助言

②歯科協力医療機関：C歯科診療室

→ご家族様と相談し、往診へ(※ご本人の介護拒否ある為)

スタッフも「口腔ケア」の指導を医師より受けた

口腔ケアのこだわりにて拒否があったが...

歯科医師による口腔ケアは拒否なく行えた

感染症予防の
目的もかねて！



B病院・C歯科診療室の全面的なサポートが濃い看取りケア

看取りケア後のかかわり

ご本人の日課であり、
こだわりのあった化粧の対応

◆ ご本人様: エンゼルケアの実施

→ 身体の清拭・衣服への更衣・化粧

◆ ご家族様: ご本人の状態変化(急変)の連絡

→ 到着後、ご本人の状態報告

到着前に逝去された際の、最期の状態について
お伝えする

ご家族様の
反応

職員で行ったご本人への化粧を気に入られ
「本来のご本人の姿だった」とのお言葉を頂いた



職員の看取りにおける不安要素

職員の不安感

入居者様の
死と向き合う恐怖

容態変化時の
対応について

夜間、看護師が
いないこと

職員から上がった声が多かったのは……

「夜間、呼吸停止された際の対応」

「看取りケア」に対するプレッシャーが大きな不安要素へ



職員のメンタルサポート

不安の声

- 新人職員より夜勤の時が不安
- 自分に何ができるかわからないと不安
- 容態が予測できない事の不安



「不安感」を声に出し
想いをスタッフ間で共有

★看護師からのアプローチとサポート

- 看護師にて普段・急変時に確認する項目をまとめた
「バイタルサイン表」の作成→「誰もがわかる場所」に設置
- 「些細な事でも報告を」と伝え、看取りケアに対する日々の相談や
意見交換の場を時間をつくって設けた

介護・看護の間の壁を取り除く

今回の看取りケアで留意した点

- ご本人・ご家族の意思・要望を尊重
- ご本人の身体状態に配慮し、「痛み」を和らげるケアを提供
- 協力医療機関との連携の強化
- 職員間での連携強化の為、「相談しやすい環境づくり」を
全員でつくるよう努めた

チームケアの充実！



「1人ではなく、職員全員でケアを提供する」との認識で
同じ方向を向いて協力・連携し合う看取りケアを
目標とした

今後、施設で取り組みたいこと

- 今後の看取りケアの為、4事例の検討会を開催
- 看取りケアの職員勉強会の実施
- 看取りケアの個々スタッフの想いについて再度、意見交換を行う



看取りケアに明確な正解はなく

ご本人やご家族の想いを汲み取り、

その方らしい最期を迎えるサポートを行うのが
施設職員の大きな役割





看取りケアの振り返り

ご本人を支える資源をフル活用！

ご家族様への
情報提供・共有



医療機関との連携



職員間での連携
情報共有

= その人らしい看取りケアへ

一人ひとり看取りのケースは違う為、不安も感じる
どのケアにおいてもだが、職員間の連携体制の強化が
より良い「施設における看取りケア」に繋がる

介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木



ご清聴ありがとうございました